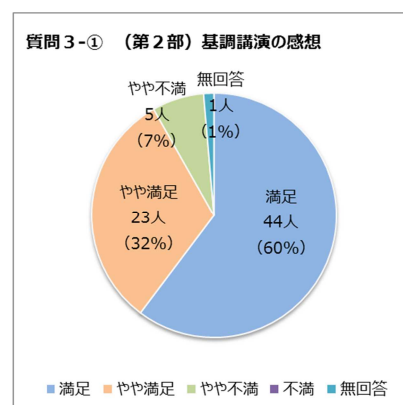
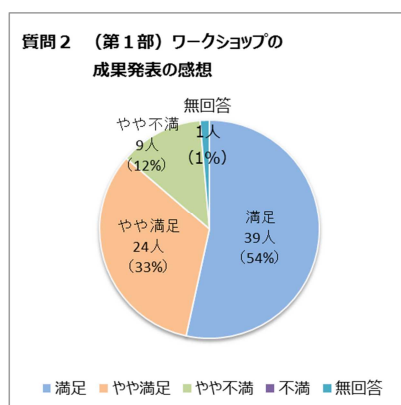
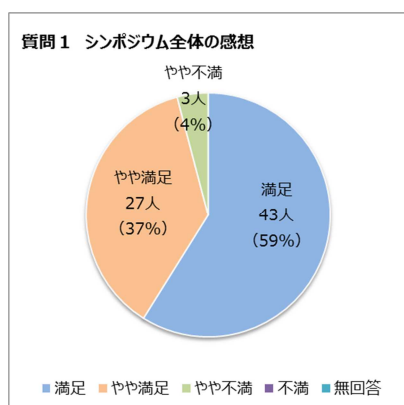


キャンパス SDGs 滋賀シンポジウム アンケート結果

- 日 時 平成 29 年 12 月 10 日 (日) 14:00～
- 場 所 滋賀県庁新館 7 階大会議室
- 回 収 数 73 枚 (回収率 57.9% : 来場者数 126 名)
- 質問項目 アンケート参照 (3 ページ目)

1. 概要

- ・シンポジウム全体の満足度はかなり高い。「満足」「やや満足」の合計約 96%
- ・(第一部) ワークショップの成果発表の満足度は高い。「満足」「やや満足」の合計約 86%
- ・(第二部) 基調講演の満足度はかなり高い。「満足」「やや満足」の合計約 92%
- ・満足度が高い理由としては、SDGs について考える良い機会となった、学生の発想力・具体化された発表が良かった、SDGs の成り立ちや今の課題が分かった、という内容が多い。
- ・いただいたご意見としては、学生の発表時間 (5 分) が短かった、という内容が多い。



2. 各質問項目の主なご意見

(1) [質問 1] シンポジウム全体の感想

- ・SDGs について考える良い機会となった。SDGs の理解が深まった。SDGs の広がりを感じた。
- ・地方創生に求められていることが分かった。
- ・学生のアイデアも良かったし、講演も理解しやすかった。
- ・学生の考えに対して我々が一緒に考え、アクティブラーニングが起こっている。
- ・世界を変えていくキーワード SDGs。仕事、日々の暮らしにどう活用していくか考えたい。

(2) [質問 2] (第 1 部) ワークショップの成果発表の感想

- ・若者の発想力、具体化された発表が素晴らしい。面白い提案が多かった。
- ・短い時間によく研究してまとめてくれた。
- ・学生が SDGs をテーマに具体的に考えていることに感心した。
- ・若者が自分達の言葉で未来を語っているところが素晴らしい。
- ・若さが目立ったが、こういった事に取り組む学生がいるという点だけでも良かった。
- ・アイデアに至った検討プロセス、思考回路も含めて発表する時間をあげて欲しかった。
- ・もっと自由な発想 (実現が困難なもの) があっても良かったのではないかな。

(3) [質問3-①] (第2部) 基調講演の感想

- ・SDGsの成り立ちの先進性や今の課題が良く分かった。知らなかった知識が多く、考え直すべき部分が多かった。
- ・研究という観点からSDGsを知ることができた。広い視野でSDGsの関わりが分かった。
- ・SDGsに対して様々なアプローチから考えることの大切さと、これから自分自身がどう動いていこうか考える機会になった。今後のSDGsの進め方の示唆をいただいた。
- ・雲の上のような話に思える。SDGsを流行り言葉で終わらせないためには正しく理解する(させる)努力を続けて欲しい。
- ・指標についての話をもう少し掘り下げて欲しかった。
- ・日本としてのターゲットは何に目標を置くのか。
- ・もう少しじっくり聞きたかった。
- ・何を伝えたかったのかが分かりづらかった。何をすれば良いのか分からなかった。

(4) [質問3-②] 基調講演の中で、特に印象に残った内容やキーワード

- ・「バックキャスト」「未来からの出発・逆算」「未来基準」
- ・「3つの新しさ(新しいアプローチ、新しい仕組み、新しい物差し)」
- ・「SDGsが広まり主体は増えているが、本質を行っているところは希少」「SDGsの本質は社会の変革」「本質に則った先進事例をつくることが重要」
- ・「目標ベースのガバナンス」
- ・「指標化する」「指標の採用にあたり、ビジネスチャンスがある」
- ・「SDGsは経済成長の話である」
- ・「自立・分散・協調」

(5) [質問4] その他(ご感想やご意見)

- ・今日のような場がもっと認知されれば良い。このような企画をまた行って欲しい。
- ・学生と行政に加え、企業の方も参加してこのワークショップをやるとより深まると思う。
- ・学生のプレゼンが素晴しかった!! ワクワクしながら自分の言葉で話されていて、将来が明るいと感じ、企業人としてもしっかりと肝に銘じなければと感じました。
- ・目標→今を設定するSDGsはプロセスが決まっておらず、導入地域の特徴に合わせた活用方法を考えることができると知った。基準がない分、地域の中の各団体の人同士が集まり、活用方法を考える機会があり、地域の自治力を強めるきっかけに使えると思う。地方創生×SDGsの事例をもっと調べてみたい。
- ・「目標を解決したいのに衝突が起こる」との意見はもっともであり、時間と対話が大事だ。
- ・国と自治体を分ける必要があるのではないかと。特に法整備が先決である。
- ・行政関係機関は、大学等中心の参加から今後民間企業のより多くの参加が望まれると思う。
- ・やはりSDGsは言葉先行で、一体何なのか、ほとんどの人が分かっていないと思う。具体事例として、こういうアプローチがSDGsだと示して欲しい。難しく考えずに、まずは身の回りから考えることを始めるべきと理解した。
- ・企業としてSDGsに取り組み始めた段階であり、CSRの域から事業の本質につなげていきたい。SDGsは何のためにあるのか。他人事ではなく、自分ごと、自分の子孫に関わる問題として全ての人に関心を持つように、自治体としてもPRして欲しい。
- ・具体化を進めていけると、さらにSDGs達成につながると思った。まだまだSDGsのことを知らない人が多いため、教育現場等でもアプローチできれば良いと思う。

キャンパスSDGs 滋賀シンポジウム アンケート

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございました。
今後の取組の参考とさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。
なお、この用紙は、シンポジウム終了後、会場出口でご提出ください。

質問1：シンポジウム全体のご感想と、その理由をお聞かせください。

満足 やや満足 やや不満 不満

理由： _____

質問2：「第1部 ワークショップの成果発表」のご感想と、その理由をお聞かせください。

満足 やや満足 やや不満 不満

理由： _____

質問3-①：「第2部 基調講演」のご感想と、その理由をお聞かせください。

満足 やや満足 やや不満 不満

理由： _____

質問3-②：基調講演の中で、特に印象に残った内容やキーワードをお聞かせください。

質問4：その他に何かご感想やご意見があればお聞かせください。

ご回答ありがとうございました。